

## リース？

永 山 裕

私の医院ではずっと手書きのレセプトでしたが、医療事務をお願いしている方の都合が悪くなり仕事が出来ない事、他の人に依頼するあてもなく、スタッフにレセプト書きをさせるわけにもいかず、自分でも書く気は全くないというわけで、しかたなくレセコンの購入を決心しました。数社のデモをお願いして見ましたがどこもソフト料がめっちゃくちゃ高い自分でソフトを作るとよいのですが出来ないでなくなく価格に関してはあきらめました。また気づいた点ですがどのメーカーと話をしてもリースという言葉が出て来ます。

パンフレット等の資料を見ても5年リース、6年リース（リース料率1.5%）など書いてあります。材料屋さんに聞いてもコンピューターの場合なぜかリースが一般的になっている、との事です。リースと銀行から借りるのはどちらが有利なのか？リース会社は資金を調達し、客の希望する医療機器を購入して客に貸すシステムを採用しています。会社側では、医療機器を貸すにあたり、その償却費用、固定資産税、会社の利益を組み入れているはずで、本来は、銀行から借りて割賦返済していくよりは明らかに「高くなる」はずだと思っていましたが、現実にはリースのほうが安くなる場合もありそうです。またかならず聞く言葉はリースの場合は100%経費になるから税金の面で有利という話です。このように言われるとわけがわからなくなってきました。

岩見沢のS産業のS所長が言うには（又聞きですけど）1番有利なのは手持ちの現金で買う。次はリース。その次に銀行からかりて買うという順みたいです。

この文が皆様の目に入るころにはどうするかまわっている予定ですが、私としては一番不利とされている「銀行からかりる」という方法をとろうとしています。

どなたかジックリ何がよいのかおしえて下さい。

## 公衆衛生部

山 田 直 樹

3年間、公衆衛生活動をさせていただきましたことに感謝申し上げます。

少子高齢化が益々進み、社会保障のあり方が見直されようとしている中、歯科界が自らその重要性（特に予防と健康）を市民、社会に訴えて行かなければならない正念場だと思います。

また、市民に信頼される歯科であるために、歯科医師会・歯科技工士会・歯科衛生士会・関係諸団体が連携して、しっかりとした方向性、つまり、地域住民の健康を守るというビジョンを共有することが、大切な時期です。

今までの活動を振り返りますと、1年間は、歯科衛生士会・歯科技工士会・保健所・歯科材料業者と協働で8020歯っぴーフェスティバルを行うことをはじめました。また、保育園の園児の太鼓演奏を依頼するために保育園へ出入りしたことをきっかけに、歯科の知識の普及の方向性を感じました。

1年目8月から、メープル小学校と打ち合わせを行い、平成16年3月よりキシリトールの学校歯科予防事業を始めました。

2年目、キシリトールの学校歯科予防事業う蝕予防事業のモデル事業として継続して行いました。11月からは、クラスごとに、歯の保健指導の授業を行いました。5月 岩見沢子育て支援フォーラム「エンジェルフォーラム」岩見沢子育て支援フォーラム実行委員会主催 於：岩見沢市民会館で、幼児の虫歯予防ブース（パネル展示とガムの販売）を担当しました。6月には『いいものメッセ』岩見沢青年会議所主催 於：岩見沢駅前広場に参画し、歯の健康について情報発信を行いました。11月30日（日）第11回8020歯っぴーフェスティバルを行いました。このときは、南町わらべ太鼓やみどり保育園太鼓、日本でただ一人の絵本パフォーマーの岸田さんをお招きして絵本パー